

5. 姫路工業大学の発展期(2)

自然・環境科学研究所の開設

- ・平成4年4月;「県立人と自然の博物館」内に開設
自然と環境の総合研究を行い, 学術の発展と「自然と調和した人間社会」の創造に寄与することを目的
自然史学から環境計画までを統合, 人と自然の共生のあるべき姿を
探求する自然・環境科学の研究機関



自然・環境科学研究所・県立人と自然の博物館

5. 姫路工業大学の発展期(2)

高度産業科学技術研究所の開設

- ・平成2年4月;工学基礎研究所専任教員0名
 - ・将来計画委員会;山中千代衛学長(平成2年10月就任)
工学基礎研究所検討部会(部会長;泉久司所長)
 - ・県立先端科学技術支援センター, SPring-8との連携・協力
 - ・平成5年;工学基礎研究所拡充計画(宇山忠男所長)
 - ・高度産業科学技術(高度研, LASTI)に改称
独創的科学技術の振興, 地域産業の高度化・活性化, 産官学の実践の場
 - ・平成6年4月;設置
光科学技術を中心とした先端的科学技術の研究, 県下企業等との共同研究等による新産業技術基盤の創出, 産業支援
 - ・附属研究施設として1. 5GeV放射光リング「ニュースバル」
 - ・平成6年6月;望月孝晏教授着任
同10月新部正人助教授, 天野壮助手着任
- 高度研, ニュースバル(NewSUBARU)の開設にはOBの力大

5. 姫路工業大学の発展期(2)

高度産業科学技術研究所



県立先端科学技術支援センター (CAST)
高度産業科学技術研究所



高度産業科学技術研究所の玄関

5. 姫路工業大学の発展期(2)

高度研の研究組織

1. **光・量子科学技術大講座**
(Light and Particle Science and Technology)
 - ・ 光量子システム
(Advance Photon System)
 - ・ ビーム物理
(Beam Physics)
 - ・ ナノ構造科学
(Nanostructure Science and Technology)
2. **光応用・先端技術大講座**
(Light Application for Advanced Technology)
 - ・ 放射光ナノ工学
(Nano Science and Technology utilizing Synchrotron Radiation)
 - ・ ナノマイクロシステム
(Nano-micro System)

5. 姫路工業大学の発展期(2)

SPring-8, New SUBARU周辺



SPring-8サイト



NewSUBARU近景

5. 姫路工業大学の発展期(2)

附属高等学校の開設

- ・平成3年1月;附属高校設置計画(山中千代衛学長新年祝賀会)
- ・平成3年3月;将来計画委員会「附属高校新設計画部会」

1. 附属高等学校新設計画部会 (平成3年5月～平成4年11月 部会長:坂本 亨)

工学部:太田 勲、熊谷 哲、坂本 亨、前田嘉道

理学部:大隅 隆(将来計画委員・部会幹事)、久保田 康、小堀 洋、津田基之、
寺岡義伸(平成4年3月まで)、岩崎千里(平成4年4月より)

一般教育部:清原正義、吉田 良

2. 附属高等学校設置構想委員会 (平成3年6月～平成3年10月 委員長:山中千代衛)

姫路工業大学:山中千代衛(学長)、白子忠男(工学部長)、菅野 暁(理学部長)、
青木冴子(一般教育部長)、野呂倫章(事務局長)

学識者:角戸正夫(県顧問・元学長)、田中正巳(西播磨テクノポリス産業振興財団
副理事長)

教育関係者:岸本 進(県高等学校長協会会長)、浅田 弘(県中学校長会会長)

地元市町:井上隆溥(姫路市企画局長)、岡田 守(西播磨テクノポリス建設推進三
町協議会会長・三日月町長)

兵庫県:清水良次(教育長)、小滝敏之(総務部長)、安部栄治(企画部次長)、秋山
敏郎(企業庁播磨科学公園都市整備局長)

総務部:藤和重喜(次長・教育振興企画担当)、森野茂樹(教育課長)

5. 姫路工業大学の発展期(2)

附属高等学校開校

- ・平成6年4月1日;附属高校開校

細川欽延校長(工学部機械工学科教授), 岡野俊昭副校長

- ・平成6年4月8日;第一回入学式挙行

全県学区, 総合科学科, 定員160名, 寄宿舍(91名入寮)



校舎へのプロムナード

5. 姫路工業大学の発展期(2)

50周年記念事業

- ・記念事業委員会主催行事(平成6年10月7日記念式典・祝賀会)
学長パネル討論, 記念式典, 外国人による日本語スピーチコンテスト, 記念講演会, 学内研究室の公開, 記念シンポジウム等
記念事業委員会後援, 協賛事業(シンポジウム, 学生への箴言集発行, ロボットコンテストに参加支援等)
- ・記念会館の建設; **書写記念会館の建設**
- ・**募金活動; 3億2,700万円**
- ・**記念財団の設立; 財団法人姫路工業大学後援財団**
設立発起人中嶋好重日製電機(株)社長
基本財産1億円, 運用財産800万円(姫路工大拡充委員会寄付)
現「**公益財団法人兵庫県立大学科学技術後援財団**」(中嶋理事長)
平成6年度助成金; 18件, 7,423,872円
- ・記念碑の建立; 「きずな」像
神戸市長田区五位ノ池町2丁目1番
- ・「姫路工業大学五十年史」発行(平成7年9月)

